



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 株式会社カワニシホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/home.asp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前島 洋平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 村田 宣治 (TEL) 086-236-1115
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	25,459	10.2	41	—	52	—	20	—
28年6月期第1四半期	23,103	2.8	△72	—	△70	—	△72	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 11百万円(—%) 28年6月期第1四半期 △89百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	3.72	—
28年6月期第1四半期	△12.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	32,641	4,552	13.6
28年6月期	31,049	4,593	14.8

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 4,435百万円 28年6月期 4,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,885	7.4	463	138.1	462	139.1	259	184.0	46.29
通期	105,069	3.6	816	50.2	808	45.2	492	61.1	87.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社エクソーラ 、除外 1社(社名)
 メディカル

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	6,250,000株	28年6月期	6,250,000株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	639,284株	28年6月期	639,284株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	5,610,716株	28年6月期1Q	5,610,762株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、上記数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、3ページ1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は254億59百万円（前年同期比 10.2%増）、連結経常利益は52百万円（前年同期 連結経常損失70百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失72百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

〈医療器材事業〉

成長の軸となる消耗品全体の売上高は、市場環境が厳しい中にありながらも堅調に推移し前年同期比103.7%となりました。その内訳は以下のとおりです。

手術関連消耗品は、商権の獲得が順調に進み、東京都・広島県・宮城県・鳥取県・高知県でシェアを伸ばしました。また自分で血糖値をコントロールする機器や手術時の出血を抑制する材料の販売も進んでいます。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比102.2%となりました。

整形外科消耗品は、関西地域において、前期に獲得した顧客による影響に加えて、今期新たに大型施設を獲得したことから特に人工関節の売上が拡大しました。また脊椎固定手術（脊椎疾患治療における背骨の固定及び変形を矯正）も増加したことにより、整形外科消耗品全体の売上高は前年同期比106.9%となりました。

循環器消耗品は、カテーテルアブレーション（心臓の脈が速くなる頻脈の原因となる心筋組織を高周波で焼灼）やハイパワーデバイス（不整脈を治療するための体内植込み型装置）の販売が順調に拡大しています。特にカテーテルアブレーションについては、治療時間を短縮できる冷凍アブレーションの製品が売上拡大に貢献しました。その結果、循環器消耗品全体の売上高は前年同期比103.5%となりました。

設備・備品は、得意先の建替えや、画像撮影装置から受信したデータを管理するシステムの販売などがあり、売上高は前年同期比174.6%となりました。

その結果、医療器材事業は、売上高227億46百万円（前年同期比 10.7%増）、営業利益58百万円（前年同期 営業損失54百万円）となりました。

〈SPD事業〉

SPD事業は、今期から新たに2施設においてSPDを開始したことと、既存施設の手術が増加した影響により、売上高36億97百万円（前年同期比 3.6%増）となりました。しかし前期に失注した案件による利益減の影響を補うには至らず、営業利益19百万円（前年同期比 17.6%減）となりました。

〈介護用品事業〉

介護用品事業は、在宅ベッドのレンタルを中心に、丁寧で迅速なサービスを実施し、既存の営業エリアにおいて顧客基盤が拡大しました。また福島県や宮城県などの新規参入エリアにおいても、レンタル先を獲得したことで、レンタルの売上高は前年同期比112.9%となりました。

その結果、介護用品事業は、売上高4億43百万円（前年同期比 14.6%増）、営業利益19百万円（前年同期比 175.0%増）となりました。

〈輸入販売事業〉

輸入販売事業は、事業の立ち上げに関わる費用が発生しています。

その結果、輸入販売事業は、営業損失4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は326億41百万円となり、前連結会計年度と比べ15億91百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が2億92百万円、受取手形及び売掛金が12億11百万円、商品が4億29百万円それぞれ増加したことによるものです。

また、負債は280億89百万円となり、前連結会計年度と比べ16億33百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が3億51百万円、短期借入金が17億59百万円それぞれ増加した一方で、電子記録債務が1億66百万円、未払法人税等が1億72百万円、長期借入金が83百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は45億52百万円となり、前連結会計年度と比べ41百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益により20百万円、非支配株主持分が1億16百万円増加した一方で、配当金により1億68百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は、1.2ポイント減少し、13.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

おおむね計画通りに推移しており、平成28年8月9日に公表した業績予想に変更はありません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、作成したものです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、株式会社エクソーラメディカルを新たに連結の範囲に含めています。

なお、株式会社エクソーラメディカルは当社の特定子会社に該当しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,142,565	2,435,002
受取手形及び売掛金	18,116,724	19,328,217
商品	4,147,346	4,576,585
その他	1,048,659	900,390
流動資産合計	25,455,296	27,240,196
固定資産		
有形固定資産	3,745,901	3,741,982
無形固定資産		
のれん	34,717	17,358
その他	211,900	198,616
無形固定資産合計	246,618	215,975
投資その他の資産	1,601,919	1,443,400
固定資産合計	5,594,439	5,401,358
資産合計	31,049,735	32,641,554
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,495,535	16,846,880
電子記録債務	4,493,950	4,327,704
短期借入金	1,794,860	3,554,851
未払法人税等	224,050	51,449
賞与引当金	27,831	55,005
その他	1,308,701	1,212,377
流動負債合計	24,344,930	26,048,268
固定負債		
長期借入金	881,636	797,885
役員退職慰労引当金	622,290	635,445
退職給付に係る負債	365,945	371,928
その他	241,072	235,485
固定負債合計	2,110,943	2,040,743
負債合計	26,455,874	28,089,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,527
利益剰余金	4,500,762	4,350,661
自己株式	△834,279	△834,279
株主資本合計	4,617,982	4,467,659
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141,866	128,563
退職給付に係る調整累計額	△165,987	△160,336
その他の包括利益累計額合計	△24,121	△31,773
非支配株主持分	—	116,657
純資産合計	4,593,861	4,552,543
負債純資産合計	31,049,735	32,641,554

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	23,103,682	25,459,084
売上原価	20,743,313	22,953,072
売上総利益	2,360,369	2,506,011
販売費及び一般管理費	2,433,277	2,464,999
営業利益又は営業損失(△)	△72,908	41,012
営業外収益		
受取利息	341	185
受取配当金	379	340
受取保険金	990	11,630
受取手数料	1,712	1,637
売電収入	3,003	3,029
その他	8,042	5,018
営業外収益合計	14,469	21,842
営業外費用		
支払利息	8,048	6,020
売電費用	2,730	2,416
その他	1,404	1,812
営業外費用合計	12,183	10,249
経常利益又は経常損失(△)	△70,621	52,605
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,919
有形固定資産売却益	1,479	—
受取補償金	8,408	3,340
特別利益合計	9,887	5,259
特別損失		
有形固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△60,735	57,865
法人税、住民税及び事業税	22,624	45,896
法人税等調整額	△10,745	△7,139
法人税等合計	11,879	38,757
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72,614	19,108
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,784
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72,614	20,892

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72,614	19,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,049	△13,302
退職給付に係る調整額	△1,261	5,650
その他の包括利益合計	△17,310	△7,652
四半期包括利益	△89,925	11,455
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△89,925	11,455
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	19,181,725	3,539,403	382,553	—	23,103,682	—	23,103,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,356,933	30,653	4,859	—	1,392,446	△1,392,446	—
計	20,538,659	3,570,056	387,412	—	24,496,128	△1,392,446	23,103,682
セグメント利益又は損失(△)	△54,774	23,684	6,931	—	△24,157	△48,750	△72,908

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△48,750千円には、セグメント間取引消去△481千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△48,268千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	S P D事業	介護用品 事業	輸入販売 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	21,349,798	3,666,290	442,995	—	25,459,084	—	25,459,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,396,425	30,724	845	—	1,427,996	△1,427,996	—
計	22,746,224	3,697,015	443,841	—	26,887,081	△1,427,996	25,459,084
セグメント利益 又は損失(△)	58,061	19,514	19,060	△4,337	92,299	△51,286	41,012

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△51,286千円には、セグメント間取引消去2,327千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△53,614千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更について

前第1四半期連結会計期間において「ライフサイエンス事業」に属していた高塚ライフサイエンス株式会社は、平成29年1月に「医療器材事業」に属している株式会社カワニシを存続会社として合併することが決定しています。これに伴い、「ライフサイエンス事業」に含めていた高塚ライフサイエンス株式会社の事業を当第1四半期連結会計期間より「医療器材事業」に含めて表示しています。

また、当第1四半期連結会計期間より株式会社エクソーラメディカルを連結子会社としたことから、新たな報告セグメントとして「輸入販売事業」を追加しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。